

3 大和ものがたり

月号

ASA大和北部
高木2-101-6
Tel: 561-3039

ASA大和南部
立野3-572-2
Tel: 563-7719

未来会議×SDGs×Minecraft

～地域住民との【対話】を通じ、世界ごとを自分ごとに
持続可能な「まちづくり」へ中学生の挑戦～



総合学習の成果発表会に参加した生徒たち

東大和市立第二中学校 SDGsを学びながら 未来の東大和市を考える

東大和市立第二中学校の一年生百十五人が、SDGs(持続可能な開発)を学ぶ授業の一環で、持続可能なまちづくりを目指し、人気ゲーム「マイクラフト」で「仮想東大和市」を作る取り組みをしました。

「マイクラフト」は、仮想空間の世界の中に草原や湿地、砂漠、雪原など様々な地形が広がっていて、土や石、水などさまざまな種類の立方体ブロックを集めて道具や建物を作ったり、知らない場所に冒険行ったりして楽しむゲームです。

生徒たちは夏から、発展途上国の現状と自分たちの生活との関わりや、市のごみ処理費などを幅広く学び、持続可能な町にするための課題を考えた上で、グループに分かれ、ゲームの中で未来の東大和市を作り上げ競い合いました。令和3年2月19日には優勝と準優勝の二グループが同校で、真如昌美教育長に成果を発表しました。

そこで今回はこの取り組みと発表内容について東大和市立第二中学校の高田裕行教諭にお話を伺ってきました。

二中におけるSDGs の取り組みについて

今年度から、東大和

市立第二中学校では、総合的な学習の時間を中心に「SDGs」を学んできました。SDGsは、学校での学び

が、リアルな社会や生徒の興味・関心とつながりをもたせ、社会課題に向き合うきっかけを作ることを目指して

取り組んでいます。また、新学習指導要領においても「一人ひとりが持続可能な社会の創り手と

なる」と記載され、世界や地域の問題を「ジブンゴト」として考え「行動」できる人間が

求められる時代では求められています。そのような背景踏まえ、本校の生徒が目を

輝かせながら取り組んだ、SDGsの取り組みについて紹介したいと思います。

授業の最終的な目標は「SDGs」についての学びを深め、東大和市に住む地域の方々

「可能なまちづくりのあり方を教育長に提案する」というものです。生徒たちは夏からSDGsへの理解を深めるために、青年海外協

力隊やJICAの外国人研修員からSDGsの視点で「世界の問題」

を学んだり、東大和市役所のごみ対策課の方や高齢介護課の方から

市で取り組んでいるSDGsについて学びを深めたり、自分たちで「未来会議」と題した

チャットを作成し、ヒガシヤマト未来大学の方々と地域住民の方々と

共にグループワークを「行動」を通して、東大和市の魅力と課題をSDGsの視

点から捉えなおしてみました。さらに、教育版マイクラフトで

「SDGs」が達成された東大和市」を作り、持続

「自分たちでも社会を変えられる」といつかのように思っています。始めたきっかけは?

私は10年前の東日本大震災で、故郷である福島県いわき市が、津波や原発による多大な被害を受けました。変

わり果てた故郷を目の当たりにして「地域を失う」ということが、こんなにも辛いことだ

ということを実感しました。私が今回の総合的な学習の時間で実施した

授業のように地域を題材とした教材を扱ったり、地域住民の方々と

学校に招待する理由は、生徒に「自分の地域を大切にしたい」とい

う10年前のあの日の気持ちを心のどこかにも持っているからだと思います。加えて、私は東

日本大震災後に震災ボランティアに参加した経験があります。そこで被災地の現場で一生懸命にボランティア活動に従事する「外国人」の出会いを通して、



真如教育長への成果発表について

真如教育長には、学年発表で1位、2位になった班のマイクラフトの世界を発表しました。生徒は「SDGs」が達成された東大和市」というテーマで「持続可能なまちづくりの在り方」を提案しました。例えば、銭湯は基本的に男子風呂と女子風呂しかありま



▼裏面へ続く

3 大和ものがたり

月号

ASA大和北部
高木2-101-6
TEL: 561-3039

ASA大和南部
立野3-572-2
TEL: 563-7719

今後について

今後、特に力を入れていきたい活動は二つあります。

一つ目は、来年度からGIGAスクール構想により、一人一台の学習端末を活用しながら教育活動を実施することができ、教室にいながら、オンラインで世界中の人々と簡単につながることができ、教育と社会との距離を近づけることができ、生徒の視野をこれまで以上に広げることが可能になります。社会で活躍する様々な大人から学び、自分はどう生きていきたいのか、どんな人生にしたいのか、「生き方」を深く考えられるような学習を提供していきたいと考えています。

地域、読者へ何かメッセージを下さい。

以前、離島の学校に勤務していたときに、ある島民の方に「子どもは島の宝だから、先ず生たちも本気でやっつけたい」と言われたことがあり、確かに教員は一定の年数が経てば、職場を離れますが、その地域を支え、担っていくのは、生徒と地域の方々です。だからこそ、我々教員がどれだけ「プロ意識」をもって生徒の成長に貢献していくことが、インテになってきます。100人の島民が好きな

き抜いていくためには、なタイムで学校を訪れ、授業を参観し、復している生徒がいれば「指導」して帰って行くこともあります。教員と島民がともに生徒の教育に協力し合う体制が充実して行きました。私は第二中学校に来てからまだ1年ですが、今年度、新型コロナウイルスの影響もあり、様々な制限がある中で、教育長をはじめとする東大和市役所の方々、地域住民の方々、約40名に本校の教育活動にご協力していただきました。その結果、コロナ禍にも関わらず私たちの想像以上に生徒は「成長」したように思います。「私たちには先生だけでなく、地域の大人もついている」ときつと子供たちは心の中でそう感じているはずで、東大和市なら離島以上に学校と地域が密接な関わりを持ちながら協力できる体制をとれると確信しています。

来年度はさらに地域の方々の交流や協働学習を増やし、一緒に第二中学校の生徒を育てていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

令和2年度 公民館パネル展 事業を、広く市民へPRすることで、公民館から6日まで、東大和市役所1階市民ロビーで、市立公民館5館（中央、南、狭山、蔵敷、上北台）が令和2年度に実施した講座やイベント等の概要と様子などがパネル展示が行われました。



令和2年度の公民館事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発出等で、休館、利用制限、中止、主催事業の中止、延期等がありました。

新しい生活様式、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した形式の中、実施された

佐伯館長のコメント
令和2年度の公民館事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発出等で、休館、利用制限、中止、主催事業の中止、延期等がありました。

【お問合せ】
東大和市立中央公民館
TEL: 042-564-2451



↑公民館情報

社会福祉協議会から

一年に一度限りの大募集!! あなたの気持ち、手話で伝えよう!!

種別	初級		中級		上級	
	①夜クラス	②夜クラス	①夜クラス	②夜クラス	①夜クラス	②夜クラス
開講式	開講式+全28回(講義+合同交流発表会を含む)					
開催日	5月20日～3月17日 毎週木曜日		5月21日～3月18日 毎週金曜日		5月19日～3月16日 毎週水曜日	
時間	午前9時30分～11時30分		午前9時30分～11時30分		午前9時30分～11時30分	
場所	社会福祉協議会、その他					
定員	各クラス30名					
対象	平成17年4月1日以前に生まれた方で、市内在住・在勤・在学の方		平成17年4月1日以前に生まれた方で、市内在住・在勤・在学の方		平成17年4月1日以前に生まれた方で、市内在住・在勤・在学の方	
費用	社協会員 5,500円 非会員 6,050円 (学生・学生 3,300円)		社協会員 2,200円 非会員 2,750円 (学生・学生 1,650円)		社協会員 3,850円 非会員 4,400円 (学生・学生 1,650円)	
申込み	当会ホームページから申し込み。または申込用紙に必要事項をご記入の上、社会福祉協議会へ郵送・FAXまたは窓口へお申し込みください。※募集要項を必ずご確認ください。 ※4月29日(金)必着(申込み多数の場合は加減) ※必須に応じて書類を提出する必要があります。 ※お申し込み後、手帳がある場合は交付できない場合がございますのでご注意ください。 ※お申し込み後、カリキュラムや会場、定員、受講方法(オンラインの活用など)の変更がある場合があります。 ※お問合せは、ご不明な点はお問い合わせください。 〒207-0016 東大和市中央3-912-9 電話:042-564-0012 FAX:042-564-3680					

編集後記

コロナ禍で密を避けるライフスタイルが浸透している昨今ですが、生徒達には「自分たちと密接につながる」という気持ちを大切に、共にかえ、共に歩んでいきたいと思います。

ASA大和南部 奥田